

かさま 社協だより

No.41



編集・発行 2020.3.31

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



館古宿サロン

撮影 畠山

も く じ

- ① 『社協』を知っていますか？
支部地区社協活動研究集会・在宅ケアチーム員研修会 2～3
- ② 生活支援体制整備事業が始まります・日常生活自立支援事業
クリスマスプレゼント届く 4
- ③ 館古宿サロン・社会福祉士相談援助実習を通して・ちょっとまじめな話 ... 5
- ④ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑤ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。



研修会に参加して

令和元年度

支部地区社協活 在宅ケア



動研究集会 チーム員研修会



2月15日(土)友部公民館で、支部地区社協活動研究集会・在宅ケアチーム員研修会が開催されました。まず「よい活動をめざして」と題して、3地区(来栖支部・大原支部・岩間西部地区)からの活動報告があり、その後、東北福祉大学、高橋誠一教授の講演が行われました。

『社協』を知っていますか?

支部地区社協編②

その③

記念講演 講師 高橋誠一様
「住民同士で支え合う地域づくり」



◆今日、行く所がある
元気で長生きする人に共通する生活習慣・決めては「きょういく」と「きょうよう」。「今日、行く所がある」と「今日、用事がある」こと。元気だから外に出られるが、逆に、外に出るから元気になることもあるという。

◆介護保険と地域の支え合い
介護保険が出来てから20年。デイサービスやホームヘルパー等、制度やサービスが整ってきたが、逆に、それまで行われてきた、声かけ、見守り、お茶飲みなど地域の力が衰えてきたのではないかと。介護保険にお任せになっていないか。

◆地域の良い所を見つけよう
支え合う地域を作るには何が必要か。まずは、いま出来ていること、やっていることに目を向けよう。お茶飲み、声かけ、近所の散歩等、日頃やっていることを見直し大事にしよう。

◆高橋誠一さんのプロフィール
東北福祉大学総合マネジメント学部教授。宅老所、グループホーム、ユニットケア、小規模多機能型居宅介護などの地域に密着した小規模ケアの運営を研究の中で、地域福祉に関心を持つ。現在、宮城県介護人材確保協議会会長。

◆岩間地区
地区社協は震災前から設立に向けて話し合いが行われていたが、ようやく平成28年12月12日に11地区401戸で設立されました。

◆今後の課題と目標
1〜3を中心に進め、年2回広報紙を発行していきます。将来を担う子どもたちの育成(上郷の史跡はほとんど歩いたので笠間市全域の歴史探索を計画)環境と景観の保持都市部からの移住者の受け入れ態勢笠間市の中でも高齢化率が特に高い地域なので、お年寄りの見守り活動・敬老事業への協力困りごと相談地区ごとの問題の共有をしてワンチームを目指したいと思っています。

心豊かなまちづくりを目指して
来栖支部委員 塩田 幸三



来栖地区は旧笠間市のほぼ中央にあり、水戸線笠間駅と稲田駅の間に位置している。行政区は4区からなり、人口約1000人、世帯数約390戸、高齢化率25%。来栖支部「四つの輪の会」の設立は平成22年6月18日で、10年目を迎える。

◆活動概要
開催日 毎月第4土曜日
内容 ゲーム、講座、おしゃべりなど
心掛け 無理をしない、参加者にも協力願う、参加者の声 来るのが楽しみ。良いもの(場)を作ってもらった。

◆主な活動
・ 田んぼの学校
・ 敬老祝賀会
・ 秋まつりや交流会
・ ふれあいサロン
2 「ふれあいサロン来栖」
地域住民の子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できる交流の場である。

◆経緯
・ スクエアステップの公民館クラブ「いきいきステップくるす」に準備に関わってもらった。



笑顔で元気

「ふれあいサロン来栖」は助け・支え合いの一步です。

地域の絆を大切に!
大原支部長 須藤 敏夫



社協大原支部は昭和53年11月、15地区で、「向こう三軒両隣り」の精神を基本理念として発足、42年目を迎えました。これまでの伝統と地域の絆を大切に今後も活動をしてまいります。

◆事業内容
役員構成 役員8人、運営委員(区長・民生委員等21人)

1 第13回グラウンドゴルフ大会 35チーム 105人の参加
2 第35回輪投げ大会 24チーム 96人の参加
3 高齢者施設見学会 10月29〜31日 3班 105人参加
4 那珂市瓜連 水戸徳川家菩提寺 常福寺 常陸太田市 道の駅 東海村 東海第二原電テーパーク
5 第12回支部ゴルフ大会 13組 51人参加
6 三世代の集い 毎年11月上旬に大原小学

1 3を中心に進め、年2回広報紙を発行していきます。
◆今後の課題と目標
将来を担う子どもたちの育成(上郷の史跡はほとんど歩いたので笠間市全域の歴史探索を計画)環境と景観の保持都市部からの移住者の受け入れ態勢笠間市の中でも高齢化率が特に高い地域なので、お年寄りの見守り活動・敬老事業への協力困りごと相談地区ごとの問題の共有をしてワンチームを目指したいと思っています。

活動方針
1 高齢者支援 シルバリーハビリティ体操の普及支援
2 子どもたちへの支援 歴史探索等
3 世代ふれあい事業 しめ縄づくり

4 年間の活動の中で、岩間第一小学校学区の子どもたちが、特に歴史に興味のある子が多いとの声が聞こえ、歴史探索の効果が表れていると感じています。



歴史探索、クイズに答えて



楽しく輪投げ大会

7 敬老祝賀会 各々独自に趣向をこらし開催されております。
8 広報誌の発行 年3回(現在75号)発行編集委員の努力に感謝
9 今後に向けて 社協大原支部もご多分にもれず少子高齢化により、伝統的な行事の縮小等も検討されており、やめてしまおう事は簡単ですが、再開する事は困難です。先輩達が築いたこの大原地区の良き伝統・風習を守り、三世代の集いの様な行事を継続してまいります。



生活支援体制整備事業が始まります

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増えていく中、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくのには、医療・介護の専門的なサービスだけではなく、地域住民を始めとしたボランティア、地縁組織、関係団体などの多様な主体による、買い物・ゴミ出し・掃除・移動支援などの生活支援サービスの提供や交流の場づくりなど、住民同士で支え合う仕組みが必要です。また、高齢者が多様な活動



第4回地域づくり研修会（1月18日）

に参加し社会的な役割を持つことで、生きがいや介護予防にもつながります。住民同士の支え合う仕組みづくりの支援と高齢者の社会参加を推進していくため、4月から笠間市より委託を受け、行政と共に事業を進めていきます。

◆生活支援コーディネーターの配置
事業を推進していくための調整役として社協に配置され、次の業務を行います。

- ・地域における社会資源を新たに見直し、ニーズにあった新たな福祉サービスの発掘や開発、人材育成
- ・地域住民／行政／公的機関／関係団体など様々な機関とのマッチングやネットワークの構築
- ・地域活動の見える化と情報発信

◆協議体の設置
協議体とは「話し合う場」のことです。

地域住民が主体となり、様々な関係者と共に、「地域の課題は何か」「地域に不足しているものは」「自分たちでできることはないか」などを定期的に話し合いながら、地域の実情にあった活動を見いだしていきます。

日常生活自立支援事業

あなたのくらしを守るお手伝いをします！

相談の流れ

福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをし、あなたがいきいきと安心して暮らせるようにサポートします。

この事業は、利用者本人と契約によりサービスの提供を行います。判断能力が低下し、契約を結べない方は成年後見制度を利用することによりサービスの提供が行われます。



困った時は、相談してください

まずは相談してください
本人以外でも、家族などを通じての問い合わせにも対応いたします。

担当者(専門員)が伺います
専門的な知識を持った専門員が自宅や施設、病院などを訪問し、相談に応じます。

お困りのことを一緒に考え、支援計画を作ります
困っていることや希望をお聞きして、どのようなお手伝いをどれくらいの頻度で行うかなどをご本人と一緒に考えます。契約内容・支援計画を提案します。

利用契約を結びます
契約内容に間違いがなければ、利用契約を結びます。

サービスが開始されます
支援計画にそって、担当職員がサービスを提供します。

相談先 笠間市社会福祉協議会 生活支援グループ
住所 笠間市美原3-2-11
電話番号 0296-1771-0730



笑顔でサポートします

クリスマスプレゼント届く
12月24日、介護保険事業所に新しい「訪問入浴車」が届きました。24時間テレビチャリティー委員会からの贈り物です。

24時間テレビチャリティー委員会は、24時間テレビ「愛は地球を救う」の放送を1978年に始めて以来、募金活動を通じた福祉・環境保護・災害復興など公益性の高い支援を全国的に展開してきた団体です。

今回の寄贈を受け、老朽化していた車両の入れ替えができました。これを機に、介護を必要とする方やご家族の在宅生活サポートに、より一層努めていきます。

委員会ならびに募金活動にご協力いただいた皆様に、心から感謝いたします。

友部地区 いつでもどこでも笑顔の輪・和・話 館古宿サロン 友部 巧造



チラシで作品づくり

平成29年9月1日に設立して会員は20人です。開催日は毎月第1・第3金曜日です。時間は、シルバリーハビリティ操が午前10時より、食事が午前11時より行っています。体操は指導員3〜4人による指導を受け、日常生活を楽にする体操・いっぽつ体操・えん下体操・発声練習を月別に行い寝たきりを一人もつくりたくないことを目標に、笑い声がいつも絶えない時間を過ごしています。

ぐらし高齢者を対象に始め、基本はワンコインによる弁当が多いです。年に3回程度会員の料理による心のこもった食事会も行っています。

食材は、サロン開催場所周りの畑で作っている小松菜・ホウレン草・大根・ネギ等を使用し、らつきようは漬物にして食事会に出しています。畑作業の種蒔き・草取り・収穫等を活動の一つとしています。

食事会後の時間は、折り紙・カサ作り・チラシを利用したゴミ入れやメガネ入れ作り・ゲームやパズル等を行っています。平成23年に使わなくなったビニールハウスを移築して活動の拠点(通称ホワイトハウス)とし、花壇作りと、花が咲くと花見会、夏休みの終わりに「ふれあい夏まつり」を行い、綿あめ・ポップコーン・ヨーヨー釣り・流しソーメン等で子ども達の元気な声がいつまでも響いています。

社会福祉士 相談援助 実習を通して



常磐大学人間科学部 現代社会学科三年 立原 遥



常磐大学人間科学部 現代社会学科三年 坂本 友結

23日間の福祉実習はあっという間に終わった様に感じます。その中で、笠間市社協が行う業務を一通り体験し、福祉の現場を身を持って学ぶことが出来ました。実習の中で印象的だったのは、笠間市社協の職員の方や地域包括支援センターの職員の方同士が、とても仲が良い事です。社協で行うサービスの利用者へ、より良いサービスの提供を行うために、多職種連携が重要だと学びました。そのため、各施設の職員同士が話しやすい関係である笠間市社協は、地域の施設とも上手く連携しているんだなと感じ、私も将来はその様な職場で働きたいと感じる雰囲気でした。

今回初めての实習ということで緊張や不安はありましたが、職員の皆様方のご指導のおかげで大変充実した実習を送ることができました。

実習では、利用者宅訪問や会議への同行、施設見学、通所生との交流など多くの場に参加させていただき、貴重なお話を伺って、福祉への理解を深めることができました。

特に、実際のアセスメントを拝見させていただいたり、自分たちで利用者のアセスメントを行ったりすることによって、学校の授業だけでは分からなかった「利用者のニーズを把握する」ことの難しさや大切さを学ぶことができました。

今回の社会福祉実習によって、改めて社会福祉士になりたいという思いが一層強くなりました。ご指導いただき、ありがとうございました。

ちよっとまじめな話

日々のニュースは新型コロナウイルスで持ちきりです。予防のためには手洗い・うがいと、感染が疑われる際はマスクをし、速やかに医療機関に相談することが大切ですが、ウイルスに対して被感染予防効果の薄いマスクだけでなく、日用品に至るまでの買い占めが見受けられます。

残念ながらその影響で、とある高齢者施設ではキッチンペーパーで手作りし凌いでおり、必要などころに行き渡らなくなってしまったと聞きました。

デマとわかっていても、買う人を見て焦ってしまいがた。自分も買う。それを見た人がまた...という群衆心理による悪循環の連鎖をさらに拡大させ、必要な人に行き渡らないことに加担するのではなく、それを留めるのは私たち一人ひとりの優しさです。

非常時だからこそ、譲り合いみんなで分けあう気持ちを大切に、冷静な行動を心がけて欲しいと切に願います。(入江)



筑波大学、真田教授による講演

ボランティア

住みよいまちづ

センターだより

くりを目指して

「第一火曜日の会」では、「まゆ玉人形（干支飾り）・まゆ玉化粧水づくり」を行いました。子育てママの応援講座と「ふれあい訪問事業」が実施されました。

「笠間市ボラ連研修会」「県央ボランティア研修交流会」が、それぞれ趣向を凝らして開催され、ボランティアの交流も深まりました。

新型コロナウイルスの影響で、「アップルパイづくり」と「岩間地区ボラ連交流会」は、中止となりました。

令和元年度 県央ボランティア研修交流会

2月14日（金）岩間公民館大会議室にて茨城県央ボランティア連絡会研修交流会が開催されました。104人が参加しました。

12月に行った笠間市ボランティア



ひと味違ったオリンピックを楽しむために
ボランティア連絡協議会会長 強口 玄子

令和元年度

笠間市ボランティア連絡協議会研修会

第一部 「オペラの名曲で心豊かに」
第二部 講演会「東京2020大会と地域の変化」

ソプラノ独唱 秋山 千華氏
ピアノ伴奏 徳満 直美氏
真田 久氏

12月5日（木）友部公民館にて笠間市ボランティア連絡協議会の研修会が開催され198人が参加しました。

第一部ではソプラノ独唱によるオペラの名曲と昔懐かしい日本の名曲を鑑賞し、美しいソプラノの歌声に心癒されました。

第二部では筑波大学よりオリンピックにまつわる話をクイズを盛り込みながら講演していただきました。ラグビーワールドカップの日本チームの活躍を例に

連絡協議会（ボラ連協）の研修会の内容がとても好評でしたので、同じ内容で開催しました。

茨城県央ボランティア連絡会は、県央地区の市町（水戸市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町・笠間市）の6市町のボランティア関係者が集まり、情報交換や交流を通じて活動の振興・推進を図ることを目的としています。



受付でお出迎え

今年度は事務局が笠間になり、笠間市ボラ連協が中心で、県央ボランティア連絡会を行いました。

笠間市ボラ連協が用意した記念品を手にとりました。



2月14日はバレンタインデー チョコレートも入れて

ふれあい訪問事業



ボランティアの協力で「あずま袋」を作り、市内各小学校（4～6年生）からのメッセージカードと飴を添えて



市内70歳以上のひとり暮らし高齢者1,835人に、ボランティアの協力で袋詰めし、民生委員が各家庭を訪問、お届けしました。（笠間支所）



令和2年 子年「五穀豊穡」



子どもを預け作品づくり

12/17 「まゆ玉人形（干支飾り）まゆ玉化粧水づくり」
21人参加

子育てママの応援講座
2/21（金）手提げ袋 10人参加
3/6（金）シューズ袋 10人参加
会場：地域福祉センターともべA館

2020年度 ボランティア講座の募集について

講座名	開催日時	開催場所	講座について
傾聴ボランティア講座	6月、7月予定	笠間市地域福祉センターともべA館	相手の気持ちを受け入れ、心を込めて聞くための学習です。
男性・女性の食事づくりボランティア講座	未定	笠間市地域福祉センターともべA館	食事について学習し、地域の食事づくりや、ボランティアの認識を深め、ボランティアを養成します。
自分のための男塾	未定	笠間市地域福祉センターともべA館	男性等に、生活の知恵や日常の生活の悩みを解決するお手伝いをし、突然ひとり暮らしになってあわてず環境の変化に対応できるようにしましょう。
福祉体験ボランティア講座	5月、6月予定	笠間市地域福祉センターともべA館	小学校に出向き、シニア体験等の教えるお手伝いをできるように、福祉体験について学んでみよう。

友部ボランティアセンター TEL 0296-78-2626 FAX 0296-78-2626
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250

その他の講座は、決まり次第「広報かさま お知らせ版」に掲載します

2020年度「第一火曜日の会」の予定

年月	内容	時間	場所
6月	施設見学	9:30～11:30	市内の施設
9月	スペシャル	9:30～11:30	笠間市地域福祉センターともべA館
3月	もの作り	9:30～11:30	笠間市地域福祉センターともべA館

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL 0296-78-2626

詳しくは、「広報かさま お知らせ版」をご覧ください



善意の寄附を「ありがとう!!」

(善意銀行預託)



令和元年11月1日～令和2年2月29日まで (順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ、使用済み切手等

- 県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
- 山中 としい
- さくら幼稚園
- すみれこども園
- ともべ保育所
- 北川根小児童クラブ
- 岩間第一小学校
- 池野辺子供会
- 岩間中学校生徒会
- 穴戸小学校児童クラブ
- 児山 甚子
- 稲田小児童クラブ
- イースタン技研(株)
- 額田 義文
- ありんこ
- おしのべ保育園
- セキスイハイム工業(株) 関東事業所
- めぐみこども園
- サンエツ工業(株)
- こじか幼稚園
- ケアプランセンター ひかる
- 岡本興業(株)
- 友部中学校
- 大沢保育園
- (有)笠間給食センター 従業員一同

森田屋

- 友部小学校児童クラブ
 - ともべ幼稚園
 - 富田 柱子
 - 泰栄電器(株)
 - 愛の里
 - イチカワユニオン岩間支部
 - 大原小児童クラブ(ポプラの会)
 - ナブコシステム(株) 茨城支店
 - 生長の家茨城県教化部 白鳩会
 - 居宅介護支援事業所 やまびこ
 - 茨城福祉工場
 - (有)佐藤設備工業
 - 笠間市役所
 - なかよし学童保育の会 みなみ学園児童クラブ
 - (有)伊藤石材工業
 - いわま保育園
 - (株)本間商事
 - 仙波建設(株)
 - 匿名
- ### 日用品等
- 川上 美奈子
 - 菅谷 幸子
- ### 育児・介護用品等
- 介護用品のスマイル土浦営業所
 - 水戸ヤクルト販売(株)

衣類等

- MGM友部店
- キャノンモールド(株)

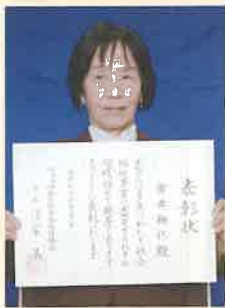
食品等

- 笠間市農業委員会
- 羽持 正夫
- (株)笠間ソフトメン橋本屋

金 銭

笠間市あすなろ友の会	¥5,932
河本 昭三	¥10,000
サザンシステムズ(株)	¥10,000
(株)博相社	¥30,000
笠中18回卒業同窓会	¥76,196
高宮 光子	¥720
友部地区社協理事会OB会	¥15,524
(有)笠間給食センター 従業員一同	¥5,830
(有)三共金属工業所	¥300,000
常陸農協 笠間地区花き部会	¥20,000
MGM友部店	¥30,000
竹水流 竹水千弘社中	¥8,869
匿名	¥168,442

全国社会福祉大会で表彰



11月22日にメルパルクホールで全国社会福祉大会が開催されました。永年にわたり社会福祉協議会の評議員・副会長として地域福祉の向上及びボランティア活動にも熱心に取り組みられた**常井鞠代さん**が、社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労表彰を受けました。おめでとうございます。

1月の大相撲初場所の幕内優勝は幕尻の徳勝龍。その前の場所が十両と言うから驚く。驚くと言えば、新型コロナウイルスによる感染騒動だ。中国の武漢市で発生した新型肺炎だ。今なお拡大中で、観光や企業活動にも影響が出ている。拡大経路が不明と言うから怖い。オリンピックに近いがそちらは国に任せて、せめて個人が出来ることは手洗い・うがいの励行かとばかりだ。(白土)

編集後記

令和2年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

場所	笠間支所 [第2・4火曜日]		本 所 [第2・4水曜日]		岩間支所 [第1・3木曜日]	
	社協笠間支所		地域福祉センターともべ (旧友部社会福祉会館)		地域福祉センターいわま (旧岩間保健センター)	
4月	14日	28日	8日	22日	2日	16日
5月	12日	26日	13日	27日	7日	21日
6月	9日	23日	10日	24日	4日	18日
7月	14日	28日	8日	22日	2日	16日
8月	11日	25日	12日	26日	6日	20日

法律相談 ※法律相談は、事前に心配ごと相談へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人 笠間市社会福祉協議会
 本 所 TEL.0296-77-0730 FAX.0296-78-3933
 笠間支所 TEL.0296-73-0084 FAX.0296-72-3722
 岩間支所 TEL.0299-45-7889 FAX.0299-45-6250